

ESDのためのKODOMOラムサール・湿地環境教育ファシリテーター研修 参加募集要項

趣旨・目的

日本が提唱し、世界で展開されている「国連・持続可能な開発のための教育の10年(2005～2014)」運動がいよいよ終盤にさしかかり、日本で開催予定の「最終年国際会議」(2014年)の成功に向け、いっそうの拡大・強化が求められています。

ラムサールセンター(RCJ)はその趣旨に賛同し、湿地をフィールドとし、日本とアジアの子どもたちを対象にした持続可能な社会を実現するための環境教育「ESDのためのKODOMOラムサール」活動に、ESDの専門家や企業、自治体と協力して取り組んでいます。

RCJではこれまで、「日中韓子ども湿地交流」(2002年～)をスタートとして、「KODOMOラムサール」(2005～08)、「KODOMOバイオダイバシティ」(2009～10)と、地球環境保全に次世代の参加を促し、人材を養成する活動を続けてきました。これらの活動には延べ2400人以上の子どもたちが参加し、地球環境や国際協力に対する認識を深め、自主的に活動に参加しようとする子どもたちのネットワークが形成されてきました。

「ESDのためのKODOMOラムサール」活動はこうした実績に立ち、アジアの子どもたちとの交流をとおして、持続可能な社会を実現するグローバルな運動へと拡大しています。

本研修は、この「KODOMOラムサール」活動の経験や手法をもとに、全国の湿地の現場で環境教育に取り組んでいるみなさんと共有し、学び合い、技術を高めることを目的とし、日本のESDの第一線の研究・実践専門家を招いて開催するものです。2014年のDESDEの10年間のしめくり国際会議が愛知県で開催される計画もあり、ホスト国として日本の環境教育の成果をここに提示できればとも考えております。

また同時に、これを機会に全国のファシリテーターの交流を深め、ネットワークの構築などをめぐっても話し合いたいと考えています。

- ◆日時：2012年3月11日(日)～12日(月)(1泊2日)
- ◆会場：千葉県習志野市 谷津干潟自然観察センター
- ◆主催：ラムサールセンター(RCJ)
習志野市谷津干潟自然観察センター
ESDのためのKODOMOラムサール実行委員会(RCJ、積水化学工業ほか)
- ◆協力：習志野市
- ◆助成：地球環境基金

プログラム(予定)

1日目 3月11日(日)

14:00 第1部：「ラムサールセンターとKODOMO活動」

中村玲子(ラムサールセンター事務局長)

講演① 「ESDの10の視点とCEPA関連活動の接点」

佐藤真久(東京都市大学准教授)

講演② 「持続可能な開発とは：水問題を例に」

藤倉まなみ（桜美林大学教授）

第2部：環境教育研究の事例発表（参加者15人）と討論

夜 第3部：講演③ 「KODOMO ラムサールとファシリテーターの役割」

中村大輔（滋賀県教員）

懇親会

2日目 3月12日（月）

8:30 第4部：環境教育研究の事例発表：谷津干潟（フィールド見学）

芝原達也（習志野市谷津干潟自然観察センター）

第5部：討論 「ファシリテーターの役割・知識・技術」

まとめ「今後の協力体制」

15:30 閉会

募集対象、人数

全国のラムサール条約登録湿地の関係施設のスタッフ、全国のラムサール条約登録湿地の関係市町村の担当者、自然系施設のスタッフなど。

定員：15人（1人7分の事例発表を準備してください）

参加費：無料（宿泊費は主催者負担）。交通費は原則自己負担です。

応募方法

希望者は、募集要項を確認して、2月20日（月）までに「申込用紙」にご記入の上、ラムサールセンター事務局まで、郵送・FAX・メールでお申し込みください。

<参加申込・問合せ>

ラムサールセンター 担当：中村玲子・渡辺美沙

〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-10-3

TEL：03-3758-7926 FAX：03-3758-7927 E-mail:ramsarcj.nakamura@nifty.com